



内容解説資料

文部科学省検定教科書
中学校国語科(書写)用
17 数出 書写 703

中学書写



比べる

教育出版の『中学書写』は

自ら考え

仲間と伝え合い

生きてはたらく

書写力を育てます。

自分の文字を教材文字と「比べる」

課題を見つけ、解決方法を「見とおし」取り組む

他の文字に「活用」し、一般化する

その過程では、自分でじっくりと考えたり、仲間との対話をとおして気づいたりする。そんな学びを促し、支援する教科書です。

解決方法を見とおす

活用する

次の時代に向けた

文字文化と豊かに関わる 主体的な文字の使い手を 育てます。

生徒たちの身近な生活は、多様な表情の文字であふれています。
校内には情報を伝える掲示板の文字、テスト前には学習内容が
身につくようにと、一生懸命に書くノートの文字。
そして『中学書写』の教科書を開いてみると、季節の行事で生きる
力強い筆文字や、歴史上のあの人が書いた文字と出会うことができ、
文字文化の世界がよりいっそう、豊かに広がります。

書くこと、気づくこと、感じることをとおして、
中学生の今とその先の文字体験を豊かにする教科書です。

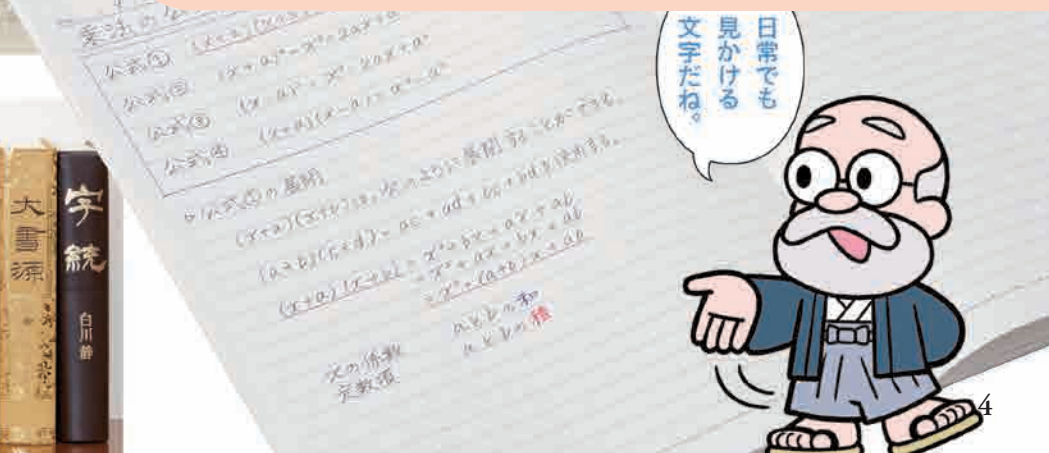
目次

育てたい力を実現するための、本書における工夫

- ① 「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を
系統的・段階的に見とおせる — 6 ページ
 - ② 知識・技能を確実に習得する — 小学校からの円滑な接続 — 8 ページ
 - ③ 「ワイドな紙面」 — 確かな文字感覚が身につく — 10 ページ
 - ④ 「学び方がわかる」 — 主体的・対話的で深い学びへ向かう羅針盤として — 12 ページ
 - ⑤ 学習活動や日常生活で、生きてはたらく書写力を身につける — 14 ページ
 - ⑥ 思考力をはたらかせて書くⅡ 国語の表現力を高める — 16 ページ
 - ⑦ 今日的な教育課題への対応 — 18 ページ
- 学習の可能性を広げ、柔軟に選べるラインアップ — 20 ページ
- 資料1 3年度用 教育出版『中学書写』観点別特色 — 22 ページ
- 資料2 3年度用 教育出版『中学書写』単元一覧表 — 26 ページ

表紙について

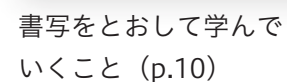
1年生で学習する『竹取物語』絵巻の一部と、高等学校の書道で学習する『高野切古今和歌集』の「い」「ろ」「は」の文字をモチーフにすることで、古典の世界、中学校の先に広がる豊かな文字文化の世界へと広がります。



新指導要領で
求められる書写力を図示

相手意識、目的意識、
方法意識を明示

親しみやすく、やわらかいイラストで意識づけます。



目標をはっきりさせることで、
つけたい力が明確になります。

3年間の
学びを俯瞰

学年カラーを活用した、
ビジュアルかつシンプルな
デザインで「何を学ぶか」
を確認できます。

発達段階を
ふまえた教材配列

1年 主な毛筆教材

- 「天地」「いろは歌」
- (楷書)
- 「大木」「栄光」
- 「平和」(行書)

2年 主な毛筆教材

- 「初志」「深緑」
- 「喜びの声」(行書)

3年 主な毛筆教材

目次 (p.2・3)

小学校からの
円滑な接続
『ふしぎ』金子みすゞ
小学校で学習した
慣れ親しんだ作家の詩を、
導入で扱います。



「まなびリンク」には
全教材分の毛筆動画を収録

教科書に掲載されているすべての毛筆動画について、書いている様子を真上から撮影した動画が視聴できます。



収録教材数

1 年…10教材
2 年… 8 教材
3 年… 4 教材
補充教材集…13教材

補充教材集
13 教材
「出発」「名作」など

学年共通「書式の教室」

- ・ 手紙
- ・ 年賀状
- ・ 原稿用紙
- ・ 小包伝票
- ・ 包み紙
- ・ 願書
- ・ 志願理由書など

書き初め
各学年2教材
「友好の精神」「真理の探求」など

「コラム」

- ・ 季節の行事と書写（1年）
- ・ あの人が残した文字
- ・ 短冊と色紙
- ・ 書の古典の鑑賞（2年）など

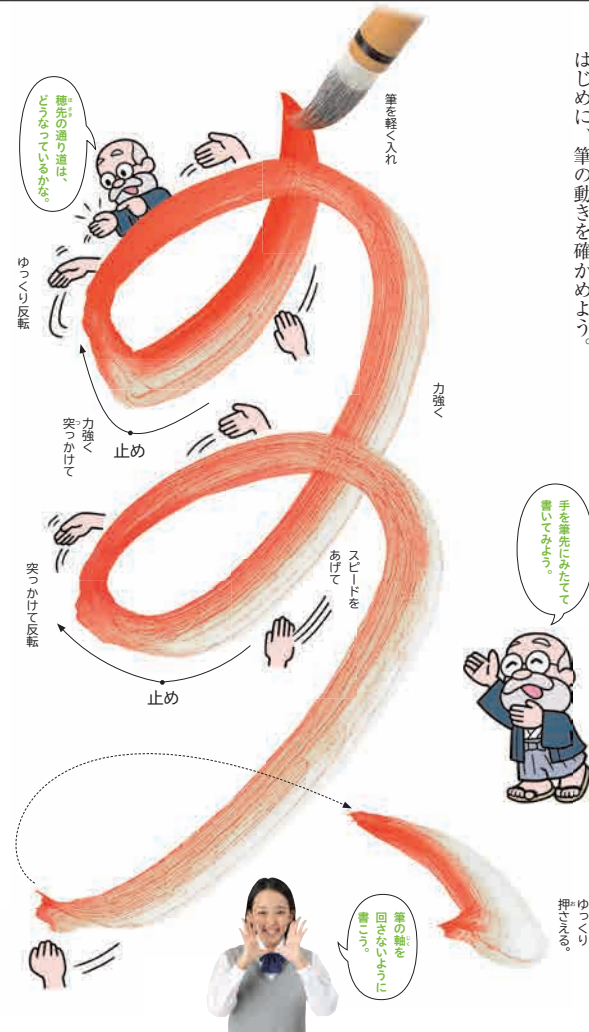
知識・技能を確実に習得する

— 小学校からの円滑な接続 —

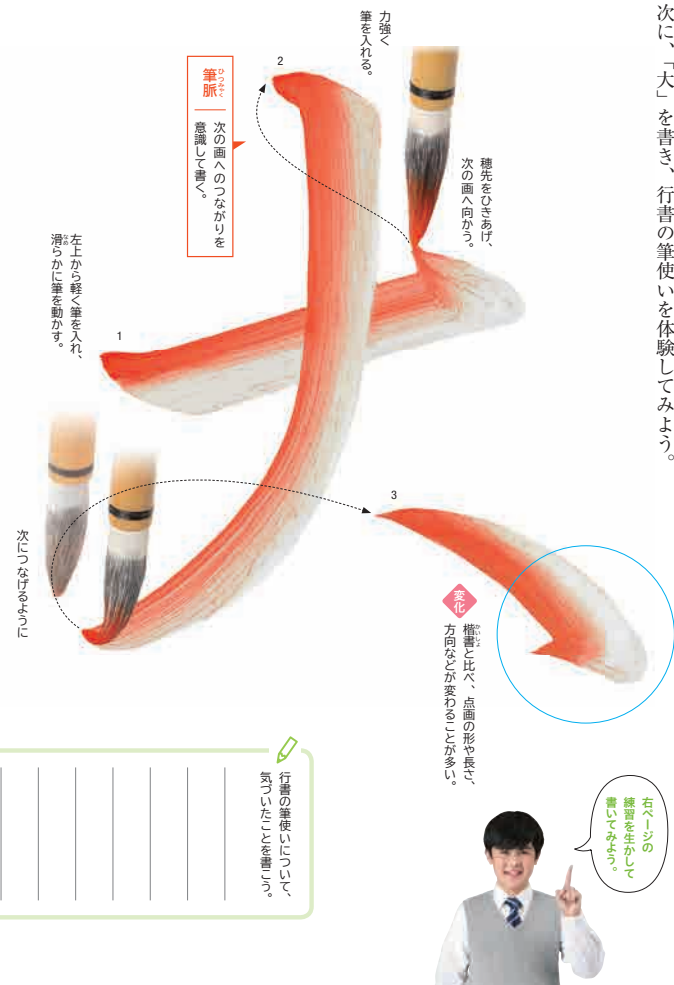
「適切に運筆する能力」＝行書の基礎的な書き方」を段階的に、丁寧に

三 行書で書いてみよう 3 行書の筆使い「大」

はじめに、筆の動きを確かめよう。



次に、「大」を書き、行書の筆使いを体験してみよう。



行書の筆使い「大」(1年p.44・45)

学習指導要領での扱い

小学校段階において、新指導要領で求められている「適切に運筆する能力」について、
中学校では明快な筆使いの図版と、行書の丁寧な導入で接続を図り、さらに高めていきます。

小学校 第1・2学年

点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。
※指導要領解説書には「水書用筆等」が例示される。

第3・4学年

毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。

第5・6学年

毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。

中学校 第1学年

漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。

行書の基礎的な書き方

＝行書ならではの筆使いの習得

作業療法※の観点から

よい姿勢をとるための
要所となる「体幹」に着目し、
背筋を伸ばすから
腰を起こすことを習慣化
できるようにしました。

※作業療法は、障害と折り合いをつけながら、活
き活きとした生活を送れるよう、仕事、遊びな
ど日常生活のなかでの活動(作業)をとおして、
こころとからだを元気にするリハビリテーショ
ン。(一般社団法人日本作業療法士協会ウェブサ
イトより)

生徒自らがよい姿勢を
確認できる観点を提示。



姿勢と用具の使い方 (p.6)



作業療法士
笹田哲先生のコメント

中学生は、発達段階として、身長、体重な
どの変化が大きくなる時期です。よくない
姿勢で書くと、運筆の調整力・視力・呼吸
の低下、体の歪みにつながり、心身に悪影
響をもたらします。よい姿勢、疲れない持
ち方にも目を向けて、書く力を伸ばしてい
くことが大切です。

プロフィール

神奈川県立保健福祉大学リハビリテーション学科
教授、同学科長 日本発達系作業療法学会理事

「ワイドな紙面」

— 確かな文字感覚が身につく —

● 半紙形を維持した紙面によって、書き始めの位置や字形の整え方、文字の大きさと余白のとり方などが、より実感できます。

三 行書で書いてみよう

4 点画の連続と変化 1 「大木」

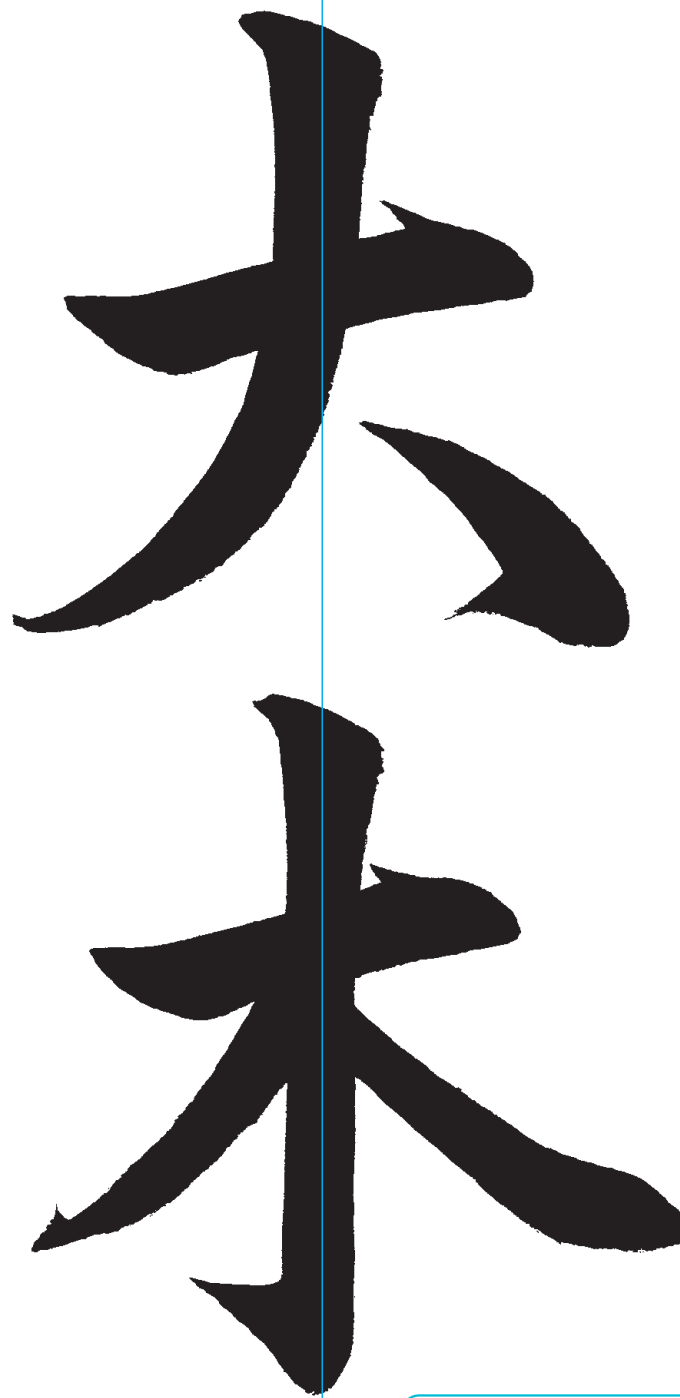
目標 点画の連続と形の変化を理解

教科書の大判化※によって、教材文字に、よりいっそう集中できる紙面になりました。

※大判化：「AB判」（縦がB5判、横がA4判）になりました。

単元名と目標は半紙形の外側へ。

行書第1教材には中心線を入れて、わかりやすく。



中心点は全ての教材に入っている。

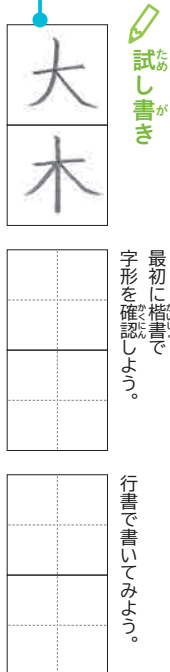
右ページで教材文字をじっくり観察する。
半紙形のイメージを大切にできます。

左ページでポイントを確認する。
より詳しい解説により理解が深まります。

見開き完結型

点画の連続と変化1
「大木」(1年p.46・47)

試し書きは左ページへ。



◆ 点画が連続し、筆脈が表れているのは、どの部分だろうか。
◆ 楷書に比べて、点画の形は、どう変化しているだろうか。

考えよう

まなび

試し書き

最初に楷書で字形を確認しよう。

行書で書いてみよう。

生かそう

変化 左払い・右払い

点画の形や長さが変わることが多い。

変化 縦画

縦画の終筆が変化することがある。

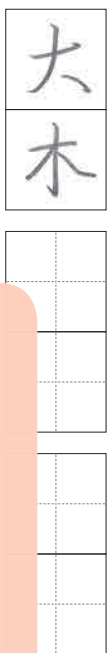
行書には、さまざまな書き方がある。

大(大・大) 木(木・木)

まとめ書きと応用

まともで「大木」を行書で書いて確認しよう。

「大」のつく二字熟語を行書で書いてみよう。



学習内容を確認する書き込み欄。

◆「大」の変化

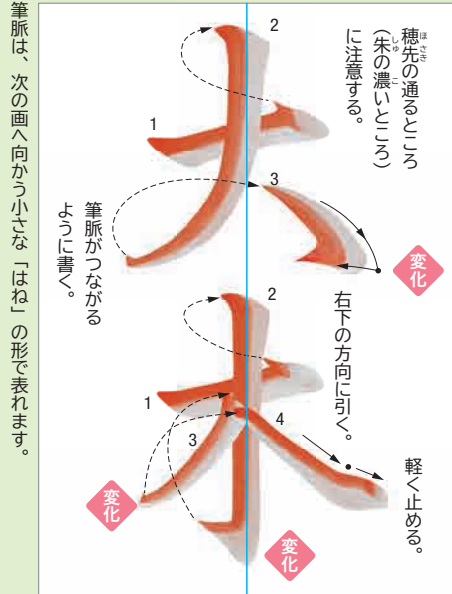


だんだんと筆圧を加え、止める。

◆「木」の変化



軽く止め、次の画へ。



筆脈は、次の画へ向かう小さな「はね」の形で表れます。

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

変化

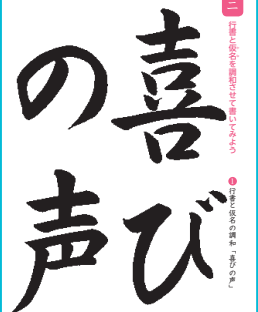
変化

「大」の三画めを

(させた結果、速く書くことができた。)

習得した知識を自ら書いて確かめることで、大切なポイントを確実に定着させます。

現行本 B5判



(p.76)

新版 AB判



(p.64)

単元名が入るため幅が狭い。

半紙形が維持できる。

「学び方がわかる」

―主体的・対話的で深い学びへ向かう羅針盤として

- 毎時間の学習の進め方が確実に理解でき、基礎・基本の定着を図ることが出来ます。
- 主教材となる1文字の学習から他字への応用、日常化までの流れをつかむことができ、「深い学び」につながります。

学習手順の明確化Ⅱ主体的な学び

「学習の進め方」について、批評場面や学習用語の例示などの具体的な手だてを入れることで、より活用度が高まりました。

学習の進め方

①

目標
学習の目標を確かめよう。

学習のはじめに、硬筆や毛筆で書こう。

学習の方法を
確認してみよう。

学習の進め方

生かそう

毛筆で学習したこと、
硬筆で他の文字に生かして書こう。

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

②

考えよう

試し書きと教科書の文字とを比べ、
自分の課題を見つけよう。

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

課題を発見し、課題を解決していく学び方

③

生かそう

毛筆で学習したこと、
硬筆で他の文字に生かして書こう。

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

生かそう

④

振り返ろう

課題が解決できたかどうかを自己評価
し、学習を振り返ろう。

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

振り返ろう

⑤

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

学習や日常生活に生かそう

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

話し合い活動で用いる
学習用語を例示。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

批評することで
課題発見する。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

練習用紙を選択し、
課題解決に取り組む。

相互評価をしよう
試し書きと点画の連続と変化を比べて、
よく似たところを伝え合う。

相互評価をしよう
試し書きと点画の連続と変化を比べて、
よく似たところを伝え合う。

相互評価をしよう
試し書きと点画の連続と変化を比べて、
よく似たところを伝え合う。

相互評価をしよう
試し書きと点画の連続と変化を比べて、
よく似たところを伝え合う。

相互評価をしよう
試し書きと点画の連続と変化を比べて、
よく似たところを伝え合う。

相互評価をしよう
試し書きと点画の連続と変化を比べて、
よく似たところを伝え合う。

相互評価をしよう
試し書きと点画の連続と変化を比べて、
よく似たところを伝え合う。

相互評価をしよう
試し書きと点画の連続と変化を比べて、
よく似たところを伝え合う。

学習カードを例示すること
で、主体的な学びを支援。

学習カードを例示すること
で、主体的な学びを支援。

学習カードを例示すること
で、主体的な学びを支援。

学習カードを例示すること
で、主体的な学びを支援。

学習カードを例示すること
で、主体的な学びを支援。

学習カードを例示すること
で、主体的な学びを支援。

学習カードを例示すること
で、主体的な学びを支援。

学習カードを例示すること
で、主体的な学びを支援。

学習カードを例示すること
で、主体的な学びを支援。

学習カードを例示すること
で、主体的な学びを支援。

学習カードを例示すること
で、主体的な学びを支援。

書写用語で伝え合うⅡ対話的な学び

話し合い活動のポイントや学習用語を提示することで、
話し合い活動を活性化させます。

他字への応用・転移Ⅱ深い学び

「硬毛関連」

毛筆で学習した行書の書き方を、硬筆の
他字に転移できる教材が豊富に例示され
ており、日常化を図ることができます。

学習を生かして書く一行書の特徴
（1年p.52）

学習を生かして書く一行書の特徴
（1年p.52）

点画の連続と変化1「大木」（1年p.46・47）

点画の連続と変化1「大木」（1年p.46・47）

「学習の進め方」と、
毛筆基本紙面の連動が明快で、
毎時間の学習の進め方が
身につきます。

① 目標

② 考えよう

③ 生かそう

④ 振り返ろう

⑤ 学習や日常生活に
生かそう

学習活動や日常生活で、生きてはたらく書写力を身につける

わかりやすくまとめる力が学力向上につながる

各教科の書く活動と連動しています。国語をはじめとして、社会、理科、数学など、各教科バランスよく教材化することで、**カリキュラム・マネジメント**にも対応しています。

学習を生かして書く一配列ー（1年p.31）

理科のレポート

書写では、より伝わりやすい書き方のこつを解説することで連携を図る。

理科のレポート

書写では、より伝わりやすい書き方のこつを解説することで連携を図る。

関連箇所

p. 4・5
p. 12・13
p. 30～37
p. 78・79
p. 82～85
p. 94・95
p. 98～107
p. 110～112

【内容例】

目的に合わせた書き方、メモ（関連づけ、分類）、さまざまな書く場面、新聞、メッセージカード、案内文 など

社会科のノート

内容を整理してまとめることで、理解しやすく、覚えやすいノートになる。

実社会で活用できる「書式の教室」

学習活動や日常生活での活用はもとより、義務教育の最終段階として、実社会で活用できる基本的な手紙の書き方、包み紙、小包伝票の書き方など豊富に掲載しており、**生涯にわたって活用**できます。

書式の教室（p.100）

書式の教室

手紙の書き方 改まった案内や報告したい内容を知らせる。

段落のはじめを一字下げの書き方と、行頭をそろえる書き方がある。

縦書き

横書き

挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

時候の挨拶

包み紙

社会に出てから求められる書式の例。

関連箇所

p. 4・5 p. 32・33 p. 98～107

【内容例】

一筆箋、年賀状、往復はがき、小包伝票の書き方、入学願書 など

書式の教室（p.107）

志願理由書

正しく丁寧に整えて書くことで志望校への姿勢が伝わる書き方の例。

志願理由書

正しく丁寧に整えて書くことで志望校への姿勢が伝わる書き方の例。

手紙

相手への配慮が書式に表れている例。

エアメール

国際交流の観点から、基本的な書き方を掲載。

エアメール

国際交流の観点から、基本的な書き方を掲載。

言語活動、文学作品などを
豊富に掲載

国語の指導要領における学習活動との連携に配慮した教材構成です。**国語と書写を連携させた指導計画**をスムーズに立てたり、**普段の授業で自然に連携**を図ったりすることができます。

●中心点

学校生活に生かして書く (1年p.36)

内容がわかりやすく、振り返りやすいノートのまとめ方について、『竹取物語』の教材をもとに例示しています。

関連箇所

p. ① · 1, 12 · 13,
26 ~ 29, 36 · 37
68 · 69, 72 ~ 77,
92 · 93, 110 ~ 112

【内容例】

夏目漱石の書、宮沢賢治の手帳、『平家物語』、『おくのほそ道』、原稿用紙の書き方 など

●中心線（新設）

書写のねらいである配列を
意識して書くことができる。

●課題解決のための 情報整理の方法

課題設定，解決方法を計画，情報を比較，事柄を推論する活動において，表や図解で表す整理法を示す。

情報比較する

いろいろな情報を整理して、ポイント抽出したい

比較する

① 注意点

どの観点から、自分の知識・経験・視点があつかえるんだね。

比較する

② ポイント

◆情報を比較するとは、共通点や相違点を見つけて、整理することです。

比較する

事柄を推論する

どのようなことが予想されるかを知りたい

推論する

① 注意点

未知の事柄について、さまざまな根拠や理由づけから自分の主張や意見を導き出すんだね。

推論する

② ポイント

◆事柄を推論するとは、整理された情報から今までわからなかったことを見出すことです。

推論する

情報を整理して、活動につなげよう (p.111)

●話し合いの観点を提示

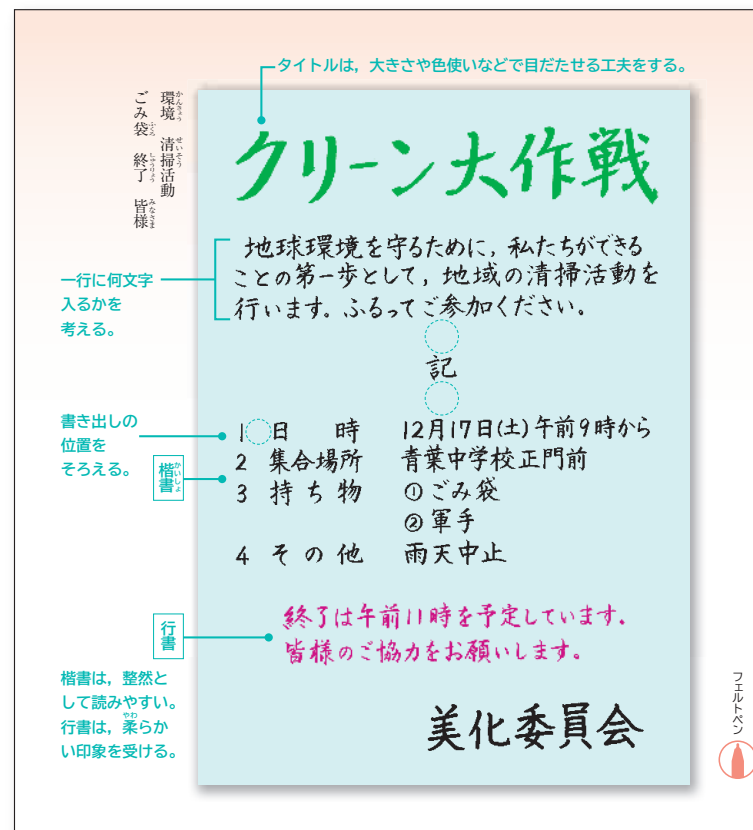
話し合いの観点によって、
よりよく書く方法を考え、
対話的な学びを促す。

29

28



学習活動や日常生活に生かして書こう（2年p.84）



- 環境保全として、「クリーン大作戦」のポスター例や、森林保護を題材とした図解の例を掲載し、次世代に生きる生徒の育成を支援します。



(3年p.97)

- 身のまわりで見られる書や、先人の書の味わい深さを実感できるコラム、地域のシンボルである城址写真のコラムなど、多角的な視点での文字資料を多数掲載しています。



(2年p.57)

すべての生徒にとっての
学びやすさに配慮

(2年p.52)

ユニバーサル
デザインフォント読みやすさに配慮した
UDフォントを使用しています。

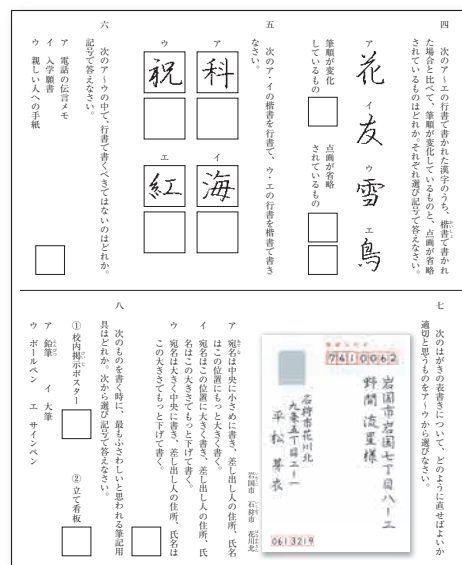
- 色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

カラーユニバーサル
デザイン判読しやすい配色です。
専門機関の認証を得ています。

(p.9)

筆圧など	字間	字形	始筆	折れ	はね	横画
行間	文字、	送筆	送り	終筆	右払い	縦画
	行の中心				左払い	

書写テストで確認



書写テストで確認（p.109）

- 書写の知識・理解の定着を図るための問題を掲載しました。

漢字一覧表（p.113～125）

- 小学校で学習した1,026字、中学校で学習する1,110字の「行書」に加えて、「楷書」を新たに掲載。
- 「漢字の部分による分類」に加えて、**50音順の索引**（p.126～128）を新たに掲載し、検索機能がさらに高まりました。

漢字一覧表が
さらに
使いやすく

家庭学習でも
活用できます

ウェブサイト

《おもな収録内容》

- 生徒向け学習資料
小学校で学習した漢字、中学校で学習する漢字の「行書」と「楷書」を掲載しています。
- 年間指導計画・評価関連資料
● 教科通信「道標」 など



学習者用デジタル教科書

教科書紙面を、パソコンやタブレットで見ることができます。



まなびリンク

- 教科書に掲載されているすべての毛筆教材について、書いている様子を真上から撮影した動画が視聴できます。

収録教材数

- 1年…10教材
- 2年…8教材
- 3年…4教材
- 補充教材集…13教材



硬筆練習帳

- 教科書の硬筆教材を確実に習得でき、実生活にも活用できる構成です。教科書準拠版。



拡大教科書

- 視覚障がいのある生徒が見やすく使いやすいように、文字を大きくし、レイアウトを工夫した教科書です。



生徒の視点に立った
使いやすい構成です

教師用指導書に

「デジタル資料集」が入っています

教師用指導書



《おもな収録内容》

● デジタル資料集

毛筆教材の運筆動画（穂先動きがわかる動画、真俯瞰から撮影した動画など）を全教材分、収録しています。



● 本冊

- ・ 学習指導案（全時間分）
- ・ 書写指導の考え方
- ・ 板書例 など

● 別冊（朱書編）

教科書と同じ紙面に、ポイントとなる解説を朱書きでわかりやすく記述しています。

● ワークシート

毛筆の原寸教材と練習用紙（かご字、骨書きなど）を全教材分、収録しています。



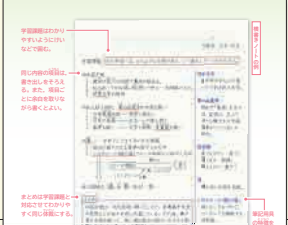
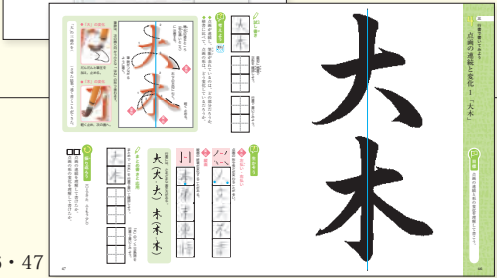
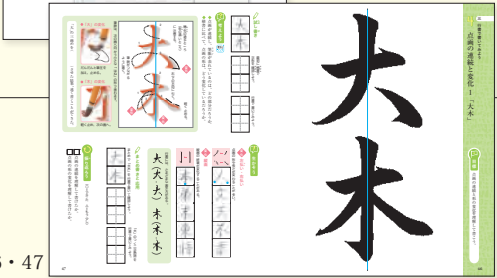
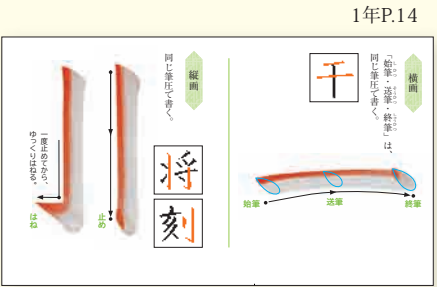
教育基本法との関連

教育基本法第二条	教科書の内容	具体例
尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	●文字の変遷や短冊と色紙、日本建築と書などを知ることで、我が国の伝統と文化を尊重できるように配慮しました。	1年 P.38・39「文字の変遷」 2年 P.71「短冊と色紙」、P.80・81「日本建築と『書』」
	●日本の伝統工芸である筆、墨、硯、紙の作り方を知ることによって、我が国の伝統と文化を尊重できるように配慮しました。	1年 P.22・23「筆、墨、硯、紙について知ろう」
	●暑中見舞い、年賀状や絵はがきを書く活動によって、日本の伝統的な慣習について知り、関心が高まるようにしました。	共通 P.102・103「年賀状の書き方」、P.104「はがきの書き方」
	●俳句や短歌などの伝統的言語文化の教材を書く活動をととして、日本の伝統と文化を体感できるようにしました。	2年 P.68・69「文字の大きさと配列」 3年 P.93「小筆や筆ペンで俳句を書く」 共通 P.144「色紙・短冊」
	●歴史上の人物が書いた文字や、各都道府県の城址の文字などを知ることで、郷土の文化、我が国の文化を尊重できるように配慮しました。	2年 P.56・57「あの人が残した文字」 3年 P.94～97「多様な表現による文字」(身のまわりの文字、全国の城址など)

検討の観点

検討の観点	教科書の特徴	具体例
一 内容の取扱い ——教科書としての適格性と現代性——	① 学習指導要領で求められている指導事項を確実に習得、活用できる教科書として編集しています。	●3年間で学習する内容や身につけたい力について見とおしがもてる。 共通 P.4・5「目的に合わせて書こう」,P.2・3目次,P.10「書写をととして学んでいくこと」 ●基本となる学習の流れを理解することで、主体的な学習を行うことができる。 共通 P.8・9「学習の進め方」 ●自らの課題解決に向けて教材を選択することができる。 1年 P.36・37「学校生活に生かして書く」 2年 P.68・69「文字の大きさと配列」 3年 P.98・99「三年間の学習の成果を生かそう」 共通 P.141～144 補充教材集
	② 教材の今日性と普遍性に配慮し,「今,求められる書写学習」のあり方を示しています。	● 1年 【毛筆】『天地』『いろは歌』『新たな決意』(楷書),『大木』『栄光』『平和』『世界遺産』(行書),【硬筆】『ふしぎ』『竹取物語』 2年 【毛筆】『初志』『深緑』『喜びの声』『いろは歌』『生命の尊重』『伝統の継承』(行書),【硬筆】『論語』『走れメロス』『枕草子』『平家物語』 3年 【毛筆】『創造』『美しい自然』『友好の精神』『真理の探究』(行書),【硬筆】『おくのほそ道』 共通 【毛筆】『出発』『実現』『広がる世界』『古典に学ぶ』(楷書),『名作』『理想』『雲海』『開花』『有終完美』『旅立ちの朝』(行書) ・P.2・3目次,各学年の毛筆教材「考えよう」アイコンの下に,「まなびリンク※」への二次元コードを設ける。 ※「まなびリンク」には,毛筆全教材分の動画を収録。 共通 P.102「年賀状」(英語),P.105「エアメール」 2年 P.70実現させたい願いや祈り(千羽鶴につけた短冊)P.84「クリーン大作戦のポスター」 共通 P.111 森林保護を題材とした図解の例
二 内容の範囲・分量・程度	●各学年で,書き初めや季節の行事での活用例を扱うことで,書写の能力が生活の中の様々な行事に生きていることが実感できるようにしています。	● 共通 P.102「年賀状」(英語),P.105「エアメール」
	●道徳教育との関連として,教材語句や文章について,豊かな心を育むような選定をしています。	2年 P.70実現させたい願いや祈り(千羽鶴につけた短冊)P.84「クリーン大作戦のポスター」 共通 P.111 森林保護を題材とした図解の例
三 内容の範囲・分量・程度	●教科書から毛筆動画などのデジタルコンテンツにリンクしており,運筆方法への理解をより深めることができます。	● 共通 P.102「年賀状」(英語),P.105「エアメール」
	●外国語教育との関連として,エアメールの書き方を示したり,英語の年賀状を例示したりすることで,外国語に親しめるようにしています。	2年 P.70実現させたい願いや祈り(千羽鶴につけた短冊)P.84「クリーン大作戦のポスター」 共通 P.111 森林保護を題材とした図解の例
四 内容の範囲・分量・程度	●ESD(持続可能な開発のための教育)の概念を積極的に広げ,SDGs(持続可能な開発目標)達成のためのさまざまな取り組みを行う一例として,「クリーン大作戦」のポスターや,文字で心を伝える千羽鶴の作例を掲載しています。	● 共通 P.102「年賀状」(英語),P.105「エアメール」
	●各学年の教材は,1・2年生は年間20単位時間,3年生は年間10単位時間程度で,硬筆,毛筆の学習が行えるようにしています。限られた時間数の中でも,学習効果が得られる工夫をしています。	● 共通 P.102「年賀状」(英語),P.105「エアメール」
五 内容の範囲・分量・程度	●巻末で,小学校で学習した1,026字,中学校で学習する1,110字の楷書,行書の手書きによる漢字一覧表を取り上げ,国語と関連して学習できるようにしています。	● 共通 P.102「年賀状」(英語),P.105「エアメール」
	●各学年の教材は,1・2年生は年間20単位時間,3年生は年間10単位時間程度で,硬筆,毛筆の学習が行えるようにしています。限られた時間数の中でも,学習効果が得られる工夫をしています。	● 共通 P.102「年賀状」(英語),P.105「エアメール」

教育基本法第二条	教科書の内容	具体例
〈第1号〉 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	●運筆しやすい姿勢・執筆法が定着するよう、よい筆記用具の持ち方と姿勢を丁寧に解説し、児童の健康に配慮しました。 ●運筆の動作を体感することで、適切に運筆する能力を高めるように配慮しました。	共通 P.6・7「姿勢と用具の使い方」 1年 P.44・45「行書の筆使い『大』」(他、朱墨の図版)
	●基礎・基本となる書写の知識・技能を習得することで、幅広い知識と教養を身につけることができるように配慮しました。	全般
	●はがきや手紙、包み紙や小包伝票の書き方を習得することで、幅広い知識と教養を身につけることができるように配慮しました。	3年 P.94・95「多様な表現による文字」 共通 P.100～107「一筆箋」「年賀状」「往復はがき」「包み紙」「エアメール」「原稿用紙」「小包伝票」「願書」「志願理由書の書き方」
	●めあてを確かめて、その結果を評価する活動を継続することで、自主及び自立の精神を養うようにしました。	全般
〈第2号〉 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	●書くことで日本語の美しさを体感でき、心が豊かになるような教材語句や文章を選定しました。	全般
	●学習の進め方や、学習の要点を考える問い、豊富な補充教材集によって、生徒が自らの課題解決に向けて方法を選択し、主体的に学習に取り組めるように配慮しました。	● 1年 P.25 学習の要点を考えさせる問いの例 ●自らの課題解決に向けた教材選択の例 1年 P.36・37「学校生活に生かして書く」 2年 P.68・69「文字の大きさと配列」 3年 P.98・99「三年間の学習の成果を生かそう」 共通 P.8・9「学習の進め方」、P.141～144 補充教材集
	●学習した内容を、他教科や学校生活、日常生活に生かしていく力を身につけるよう配慮しました。	共通 P.4・5「目的に合わせて書こう」 1年 P.12・13「縦書きノートの例」(国語),「横書きノートの例」(社会),P.30・31「植物観察のメモとレポート」(理科)など 2年 P.78・79「さまざまな書く場面」,P.82・83「新聞を書く」(横浜みなとみらい新聞)など 3年 P.94・95「多様な表現による文字」,P.98～107「卒業メッセージカード」「未来の自分に向けた手紙」「一筆箋」など
	●グループで課題解決を行うことをととして、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うように配慮しました。	1年 P.36・37「学校生活に生かして書く」 2年 P.68・69「文字の大きさと配列」 3年 P.94・95「多様な表現による文字」,P.98・99「三年間の学習の成果を生かそう」
〈第3号〉 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	●教材の生徒名、キャラクター写真の男女比に配慮しました。	全般
	●学習の成果が認め合えるような教材を設けました。	共通 P.8・9「学習の進め方」 1年 P.36・37「学校生活に生かして書く」 2年 P.78・79「さまざまな書く場面」 3年 P.94・95「多様な表現による文字」 3年 P.98・99「三年間の学習の成果を生かそう」
	●職場体験でお世話になった地域のかたに手紙を書く活動を設定することで、地域との交流を図れるように配慮しました。	1年 P.32・33「手紙を書く」 共通 P.100・101「手紙の書き方」
	●恩師への礼状を書く活動などによって、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うようにしました。	共通 P.101「手紙の書き方」
〈第4号〉 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	●教材の言葉、文章として、生命を尊ぶ心の育成や、自然、環境を意識できるように配慮しました。 ●環境保全のポスター例や、森林保護を題材とした図解の例を掲載することで、環境保護の取り組みを促しています。	1年 【毛筆】『天地』『大木』『栄光』『平和』『世界遺産』,【硬筆】『ふしぎ』 2年 【毛筆】『深緑』『喜びの声』『生命の尊重』,P.70実現させたい願いや祈り(千羽鶴につけた短冊),【硬筆】『枕草子』,P.84「クリーン大作戦のポスター」 3年 【毛筆】『美しい自然』,【硬筆】『おくのほそ道』,P.99「未来の自分に向けた手紙」 共通 【毛筆】『雲海』『開花』
	●書きぞめを書く活動をととして、日本の伝統と文化への関心が高まるようにしました。	1年 『新たな決意』『世界遺産』 2年 『生命の尊重』『伝統の継承』 3年 『友好の精神』『真理の探究』

検討の観点	教科書の特徴		具体例
四 特色・工夫 ――内容の創意・工夫――	②主体的に学習に取り組む態度を養えるように、生徒自らが学びやすいような工夫をしています。	●基本紙面では学習ステップがわかるアイコンを提示することで、学習活動をナビゲートし、生徒自らが学習手順がわかるように工夫しています。 ●「主体的・対話的で深い学び」を実現させるために、学習プロセスを明確化しており、「どのように学ぶか」の見通しがもてます。 ●文字の変容を伝える学習用語「話し合い活動とおした学び方」を提示することで、「対話的な学び」を支援しています。 ●課題選択教材や、補充教材集を設けることで、生徒自らが課題解決に向けて、主体的に取り組める構成になっています。	●基本となる学習の流れを理解することで、主体的な学習を行うことができる。共通 P. 8・9「学習の進め方」 ●基本紙面でアイコンや手順を提示することで、教材ごとの学習の流れが理解できる。 (毛筆の基本紙面)「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」のアイコンによって学習手順を提示。 (硬筆教材例) 1年 P.36・37「お薦めの本の帯、ポップ、ポスター」作成の手順を提示するなど。 ●自らの課題解決に向けて教材を選択することができる。 1年 P.36・37「学校生活に生かして書く」 2年 P.68・69「文字の大きさと配列」 3年 P.98・99「三年間の学習の成果を生かそう」 共通 P.141～144 補充教材集
	③多様な文字の文化に関心をもてるよう工夫しました。	●文字に関するコラムを豊富に設け、生徒の発達段階に応じて、歴史上の人物が残した文字などのテーマを設定し、文字に対する興味・関心を高める教材を設定しています。	1年 P.22・23「筆、墨、硯、紙について知ろう」、P.34・35「季節の行事と書写」、P.38・39「文字の変遷」、P.54「暮らしの文字を支える人々」 2年 P.56・57「あの人が残した文字」、P.71「短冊と色紙」、P.80・81「日本建築と『書』」、P.86「書の古典の鑑賞」 3年 P.94～97「多様な表現による文字」(身のまわりの文字、全国の城址など)、②「芸術としての書道」
五 表記・表現	①文章表現や表記・用語は、学習内容が伝わりやすいように配慮されています。	●文章表現は平易で簡潔であるとともに、運筆方法が伝わるように、具体的な言葉で示されています。 ●書写の学習用語は本文と書体を変えて赤の太字で示したり、硬筆の作例に入れる書字のポイントは色文字で示したりすることで、要点が伝わりやすいよう配慮しています。	全般  1年P.13
	②読みやすく、文字指導の観点から、適切な書体を使用してます。	●読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。	全般  1年P.46・47
	③本文、挿絵・写真をバランスよく配置し、レイアウトを工夫しています。	●見開きを基本とした見やすく使いやすいレイアウトにしています。 ●毛筆基本紙面は、右側の紙面で文字をよく見てから、左側の紙面で学習ステップを追いながらポイントを確認することができる構成になっています。	全般  1年P.46・47
	④カラーユニバーサルデザインに配慮しています。	●色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色を工夫しています。	1年 P.20・21、 2年 P.62・63 文字の組み立て方の図版(左右の色が区別しやすい) 3年 P.96・97 全国の城址(図番号について、色の区別がつきやすい他に、番号でもわかるように示している)
	⑤図版、イラスト、写真は、生徒が学習を進めるうえで適切な内容を、効果的に表しています。	●行書の特徴である「連続」「変化」「省略」をアイコンで示すことで、ポイントを理解しやすいよう工夫しています。 ●毛筆教材の図版は、穂先の通り道を朱墨で示すことで、筆使いが理解しやすい工夫がされています。 ●姿勢図、用具の持ち方や扱い方など、鮮明なカラー写真により、学習内容が正確に伝わります。 ●書写で学習した書き方が、他教科の学習活動や日常に生きてはたらくような活動場面の写真を豊富に掲載しています。	2年 P.61「連続」「筆順の変化」のアイコン(他、毛筆紙面) 1年 P.14・15「基本点画の種類」 2年 P.44・45「行書の筆使い『大』」(他、朱墨の図版) 共通 P. 6・7「姿勢と用具の使い方」 2年 P.78・79「さまざまな書く場面」における活動写真など
六 印刷・造本	●書写の教科特性を考え、水や墨汚れにも強く、堅牢な造本となっています。	●毛筆・硬筆の書き文字や、図、写真などの印刷は、鮮明で目にやさしいものとなっています。 ●毛筆文字の墨色やかさや、鉛筆文字の特色がよく表れる印刷技術を使用しています。 ●表紙は撥水コーティング加工を施しているため、水や墨汚れに強い堅牢な造本となっています。 ●裏表紙の表面加工は、氏名欄を型抜き加工を施してあるので、どんな筆記用具でも書き込めます。 ●紙の強度を維持しつつ、できるだけ軽量な紙を使用しています。 ●AB判サイズにすることで、半紙形を維持した紙面となっており、教材文字に集中できます。	全般  1年P.14

検討の観点	教科書の特徴		具体例
二 内容の範囲・分量・程度	②硬筆・毛筆教材の内容と程度は、各学年の生徒にとって理解しやすいものとした。	●硬筆・毛筆教材とも、それぞれの学年における生徒の発達段階や語彙・言語環境などを考慮して、言葉としても適切で、書写の学習要素が理解しやすい文字や語句を選んで教材化しています。	【教材語句例】 1年 P.16「筆使いと字形」(楷書):毛筆教材『天地』の学習を生かして書く硬筆教材として『天運』『天体』『天性』など 2年 P.60「筆順の変化」(行書):毛筆教材『深緑』の学習を生かして書く硬筆教材として『源流』『漁業』など 3年 P.90「行書と仮名の調和」(行書):毛筆教材『美しい自然』の学習を生かして書く硬筆教材として『生活のリズム』『充実した毎日』など
	③硬筆・毛筆教材の書風は穏健・中正を心がけ、生徒にとって書きやすいものとした。	●硬筆・毛筆教材とも、学習指導要領の漢字配当表に示された字体をよりどころに執筆し、硬筆・毛筆の字体の整合性にも配慮しています。 ●書風は、平易で自然な筆使いにしています。子どもにとってわかりやすく、学びやすい書風です。	1年 P.26・27「楷書に調和する仮名『いろは歌』」 硬筆・毛筆教材全般
	④特別支援教育に配慮するとともに、外国にルーツをもつ生徒等も含めた、すべての子どもへの学びやすさを工夫しています。	●筆順に気をつける文字を重点的に扱うなどの配慮が、すべての生徒への学びやすさにつながる教材構成になっています。 ●基本点画の名称と書き方について理解できるページが設けられており、基礎・基本となる運筆を確かめることができます。 ●よい姿勢について、運動力学的視点からのアプローチを行っています。	共通 P. 6・7「姿勢と用具の使い方」 1年 P.14・15「筆使い―基本点画―」 1年 P.20・21「学習を生かして書く―字形、筆順―」
	①書写学習の基礎・基本が確実に身につくようにしています。	●文字の書き方の秩序性を理解し習得するために、姿勢・執筆や、硬筆・毛筆の筆使い、字形の整え方などの基礎・基本の学習が確実に身につくようにしています。特に、写真や図版を活用し、平易に解説するなど、生徒自身が見てわかり、実践できるようにしています。	共通 P. 6・7「姿勢と用具の使い方」 1年 P.14・15「筆使い―基本点画―」 1年 P.20・21「学習を生かして書く―字形、筆順―」 1年 P.42・43「楷書と行書の違い『和』」 1年 P.52・53「学習を生かして書く―行書の特徴―」 2年 P.62・63「学習を生かして書く―行書の特徴―」
三 組織・配列 ――内容の組織化と教材の系統的配列――	②学習活動や日常生活に生きてはたらく書写力の育成を行うことで、カリキュラム・マネジメントに対応するよう工夫しています。	●日常生活や学習活動における生きてはたらく書写力が育成できるように、硬筆と毛筆を関連させ、毛筆学習の成果が確実に硬筆学習につながるように教材構成をしています。 ●「学習を生かして書く」「学校生活に生かして書く」では、習得した書写の力を、教科横断的な学習活動や日常生活に活用できるように関連を図っています。 ●日常生活との関連の深い「横書きの書き方」は、生徒の発達段階に応じて各学年で扱っています。	共通 P. 4・5「目的に合わせて書こう」 1年 P.12・13「縦書きノートの例」(国語)、「横書きノートの例」(社会)、P.30～37「植物観察のメモとレポート」(理科)、「職場体験の礼状」、「季節の行事と書写」、「お薦めの本の帯、ポップ、ポスター」(国語) 2年 P.78・79「さまざまな書く場面」、P.82～85「新聞を書く」(横浜みなとみらい新聞)、「掲示物に案内を書く」(環境ポスター)、「案内状を書く」(合唱発表会) 3年 P.94・95「多様な表現による文字」、P.98～107「卒業メッセージカード」「未来の自分に向けた手紙」「一筆箋」「年賀状」「往復はがき」「包み紙」「エアメール」「原稿用紙」「小包伝票」「願書」「志願理由書の書き方」、P.110～112「情報を整理して、活動につなげよう」
	③学年間や校種間の円滑な接続が行えるように、先の学年で学習する内容や、小学校、高等学校で学習する内容との関連に配慮しています。	●「発展」を設けることで、高等学校で学習する内容への興味・関心が高まるようにしています。 ●中学校と小学校とで同じ図版を用いることで、既習事項に新しい学習内容を無理なく積み重ねていけます。	(小学校との関連) 1年 P.14・15「基本点画の種類」、P.20・21「学習を生かして書く―筆順、字形―」、P.26・27「平仮名・片仮名の五十音表」 (高等学校との関連) 1年 P.40「風信帖」 2年 P.67「連綿」、P.71「短冊」 P.80・81「日本建築と『書』」、P.86「書の古典の鑑賞」 3年 ②芸術としての書道 (小・中学校、高等学校との関連) 1年 P.22・23「筆、墨、硯、紙について知ろう」、P.38・39「文字の変遷」
――内容の創意・工夫――	①適切に運筆する能力を高める活動を行う教材の充実を図っています。	●よい姿勢を保つ工夫と、鉛筆や筆の効率のよい持ち方ができるように配慮しています。 ●毛筆では、穂先の通り道を朱墨で示すことで、筆使いがわかりやすくなっています。 ●行書特有の筆使いを体験できるように、運筆のウォーミングアップを行う活動を設けています。	共通 P. 6・7「姿勢と用具の使い方」 1年 P.14・15「基本点画の種類」 2年 P.44・45「行書の筆使い『大』」(他、朱墨の図版)

2 年生用（20 時間）			
教科書の単元配列	配当時数	学習指導要領の内容	ページ
扉 第二学年	適時	ア, イ	55
□あの人が残した文字	適時	ア, イ	56・57
一 行書で書こう 1 点画の省略「初志」 2 筆順の変化「深緑」 3 学習を生かして書く ―行書の特徴―	【6】	イ イ イ	58・59 60・61 62・63
二 行書と仮名を調和させて書いてみよう 1 行書と仮名の調和「喜びの声」 2 行書に調和する仮名「いろは歌」 3 文字の大きさと配列 □短冊と色紙 4 書く速さを意識して書く ―行書と仮名の調和―『走れメロス』 5 学習を生かして書く ―行書と仮名の調和と配列―『枕草子』『平家物語』	【7】 適時	ア ア ア ア ア	64・65 66・67 68～70 71 72・73 74～77
三 学習活動や日常生活に生かして書こう 1 さまざまな書く場面 □日本建築と「書」 2 学習を生かして書く 新聞を書く 掲示物（ポスター）に案内を書く 案内状を書く □書の古典の鑑賞	【4】 適時 適時	ア, イ ア, イ ア, イ ア, イ ア, イ ア, イ	78・79 80・81 82・83 84 85 86
□書き初めを書く 「生命の尊重」「伝統の継承」	【3】	ア	133～136

3 年生用（10 時間）			
教科書の単元配列	配当時数	学習指導要領の内容	ページ
扉 第三学年	適時	ア	87
一 行書を深めよう 1 点画の変化と連続「創造」	【2】	ア	88・89
二 行書と仮名を調和させて書こう 1 行書と仮名の調和「美しい自然」 2 学習を生かして書く ―配列― 『おくのほそ道』	【3】	ア ア	90・91 92・93
三 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう 1 多様な表現による文字 2 三年間の学習の成果を生かそう	【2】	ア ア	94～97 98・99
□書き初めを書く 「友好の精神」「真理の探究」	【3】	ア	137～140
□書式の教室	適時	ア	100～107
□書写テストで確認	適時	ア	108・109
□情報を整理して、活動につなげよう	適時	ア	110～112
□小学校で学習した漢字一覧表	適時	ア	113～119
□中学校で学習する漢字一覧表	適時	ア	119～125
漢字一覧表索引	適時	ア	126～128
□補充教材集	適時	ア	141～144
□芸術としての書道	適時	ア	②

資料 2 3 年度用 教育出版『中学書写』単元一覧表			
1 年生用（20 時間）			
教科書の単元配列	配当時数	学習指導要領の内容	ページ
詩「ふしぎ」 金子みすゞ	適時	ア	①・1
目次	適時	ア, イ	2・3
□目的に合わせて書こう	適時	ア, イ	4・5
□姿勢と用具の使い方	適時	ア, イ	6・7
□学習の進め方	適時	ア, イ	8・9
□書写をとおして学んでいくこと	適時	ア, イ	10
扉 第一学年	適時	ア, イ	11
□学習内容を効果的にノートに書こう	適時	ア, イ	12・13
一 楷書で書こう 1 筆使い ―基本点画― 2 筆使いと字形「天地」 3 学習を生かして書く ―字形, 筆順― □筆, 墨, 硯, 紙について知ろう	【4】 適時	ア ア ア ア, イ	14・15 16～19 20・21 22・23
二 楷書と仮名を調和させて書こう 1 筆脈「いろは歌」 2 楷書に調和する仮名「いろは歌」 3 学習を生かして書く ―行の中心― 『竹取物語』 4 学習を生かして書く ―配列― 校庭の植物観察をレポートにまとめる 手紙を書く □季節の行事と書写 5 学校生活に生かして書く お薦めの本の帯やポップを作る ポスターを書く □文字の変遷	【4】 適時 適時 適時	ア ア ア ア ア ア ア, イ	24・25 26・27 28・29 30・31 32・33 34・35 36 37 38・39
三 行書で書いてみよう 1 行書学習のはじめに 2 楷書と行書の違い「和」 3 行書の筆使い「大」 4 点画の連続と変化1「大木」 5 点画の連続と変化2「栄光」 6 点画の連続と省略「平和」 7 学習を生かして書く ―行書の特徴― □暮らしの文字を支える人々	【9】 適時	イ イ イ イ イ イ イ ア, イ	40・41 42・43 44・45 46・47 48・49 50・51 52・53 54
□書き初めを書く 「新たな決意」「世界遺産」	【3】	ア, イ	129～132

学習指導要領の内容は、「(3) 我が国の言語文化に関する事項」の書写の事項。

著作者の紹介

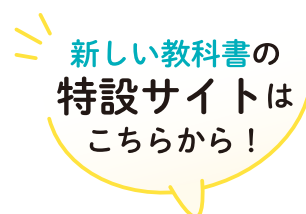
教育出版（17教出）
中学書写 教科書番号

書写

703

監修	角井 博	筑波大学名誉教授
	加藤 祐司	東京学芸大学名誉教授
	長野 秀章	東京学芸大学名誉教授
編集・執筆	板垣 純子	東京都渋谷区立上原中学校主幹教諭
	岡田 直樹	京都教育大学教授
	荻田 哲男	文教大学講師
	加藤 泰弘	東京学芸大学教授
	木村 博昭	愛知教育大学教授
	鋤持 勉	帝京科学大学教授
	笹田 哲	神奈川県立保健福祉大学教授
	清水 文博	新潟大学講師
	杉山 梓	神奈川県横浜市立深谷中学校教諭
	杉山 勇人	鎌倉女子大学短期大学部准教授
	関根 祐介	埼玉県松伏町立松伏第二中学校主幹教諭
	染谷由香理	千葉県立木更津東高等学校教諭
	玉澤 友基	岩手大学教授
	辻井 義昭	元北海道教育大学教授
	服部 一啓	福岡教育大学教授
	平野 伸子	東京都足立区立北三谷小学校教諭
	淵脇 貴子	大東文化大学講師
教育出版株式会社編集局		

特別支援 教育監修	名越 斉子	埼玉大学教授
SDGsとESD に関する校閲	手島 利夫	前東京都江東区立八名川小学校校長



本社・支社・営業所

教育出版ホームページからも
アクセスできます。

本社	〒135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館	TEL. 03-5579-6278	FAX. 03-5579-6444
北海道支社	〒060-0003 札幌市中央区北3条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F	TEL. 011-231-3445	FAX. 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F	TEL. 0138-51-0886	FAX. 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F	TEL. 022-227-0391	FAX. 022-227-0395
中部支社	〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F	TEL. 052-262-0821	FAX. 052-262-0825
関西支社	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F	TEL. 06-6261-9221	FAX. 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F	TEL. 082-249-6033	FAX. 082-249-6040
四国支社	〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F	TEL. 089-943-7193	FAX. 089-943-7134
九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡 E 室	TEL. 092-433-5100	FAX. 092-433-5140
沖縄営業所	〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F	TEL. 098-859-1411	FAX. 098-859-1411

この資料は、一般社団法人教科書協会の「教科書発行者行動規範」に則っています。